

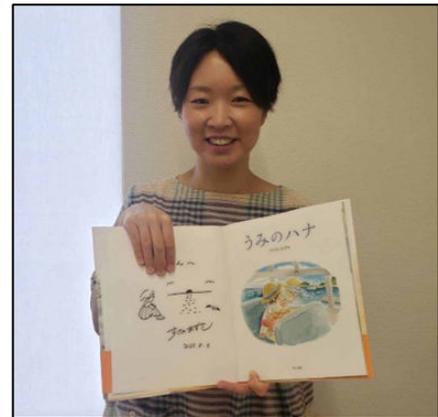
10/27 秋の読書週間イベント開催  
**海南市の絵本作家“すけのあずさ”さんの作品を  
 和歌山で活躍するパフォーマーたちが芝居、ダンス、歌、漫才で  
 音楽劇に**

「お菓子発祥の地 海南市」にちなんだお菓子の物語。絵本の楽しさを伝え読書推進にも

図書館機能を中心とする複合施設「海南nobinos」（和歌山県海南市）は、秋の読書週間イベントとして『すけのあずさ原作「おかしなガイドブック」SHOW!』を10月27日にノビノスホールにて開催します。海南市在住の絵本作家“すけのあずさ”さんのお菓子をテーマにした作品を元にした創作音楽劇で、「才能の地産地消」を提唱するイベント会社（株）inntoro（イントロ）協力の下、芝居や歌、ダンス、漫才など多彩な才能がノビノスホールに集結します。海南市の絵本作家や和歌山を中心に活躍するパフォーマーたちを知ってもらい、そしてお菓子発祥の地 海南市に想いを巡らせてもらいたいと企画しました。普段海南nobinosに来館されない利用者にも絵本の楽しさ、すばらしさを伝えることで、読書推進につながる機会にもなればと考えています。

■ **絵本の持つ魅力・可能性を追求**

読み聞かせだけでなく、様々な分野で活躍中の才能豊かな皆さんに協力を依頼し、“すけのあずさ”さん原作「おかしなガイドブック」を誰もが楽しめる音楽劇にしました。お菓子が大好きな子どもがおかしなガイドブックを片手に、おかしな旅行社のガイドさんとお菓子の欲張りコースを巡るおかしだらけの不思議な物語。絵本作家本人の承諾の下で多様なジャンルとコラボし絵本の魅力や新しい可能性を追求することや、絵本の読者層を広げることで読書推進につなげます。



すけのあずささん（海南nobinosで撮影）

■ **楽しさ満載の音楽劇**

芝居は3つの劇団に属する役者が参加します。“KCM”は海南市のアマチュア劇団として誕生し、和歌山にゆかりのある作品を中心に海南から発信できる舞台作りを目指して活動しています。“劇団たなべ座”は、和歌山県田辺市から演劇で地域を元気にすることをモットーに2017年に設立した市民劇団です。“Starriys Company”は2024年4月に創立。OSK日本歌劇団で演出を務めるRi-yaさんを中心に様々なジャンルの舞台をプロデュースしています。音楽劇を華麗なダンスで盛り上げるのは、元劇団四季の劇団員で、ミュージカル俳優として7年間活動した北山桃子さんが代表・講師を務める“Sundy'sわかやま Cheerleaders”と、キッズダンスが人気の和歌山ダンスチー



兄弟お笑いコンビ すみたに（HPより）

本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南nobinos 指定管理者TRC海南（担当：馬場・西岡）

〒642-0002 和歌山県海南市日方1525-6

TEL：073-483-8739 FAX：073-483-8738

E-mail：lib.trc.kainan@mail.trc.co.jp

HP：https://kainan-nobinos.jp/

ム“PROGRESS”の面々です。また、テレビ和歌山50周年【復活！！カラオケ道場】で優勝した佐竹風楽（さたけふうら）くんが挿入歌『おかしなおかし』を熱唱します。さらに和歌山県のローカルタレントとして活動している兄弟お笑いコンビ“すみたに”がおかしなえほん漫才を初披露します。海南市のご当地キャラクター海ニャンも登場、みんなを笑顔にする音楽劇が完成しました。

参考

### ■すけのあずさ原作「おかしなガイドブック」SHOW！

日時：2024年10月27日（日） 第1部13：00～14：40 第2部15：30～17：10

会場：ノビノスホール

主催：海南nobinos

企画・制作：（株）inntoro（イントロ）

募集人数：各回220名

参加費：高校生以上 1,500円 中学生以下 500円

（保護者1名につき1名までの膝の上での無料鑑賞可）

### ■すけのあずささんプロフィール

1986年大阪生まれ、海南市在住。絵本作家/イラストレーター。第21回ピンポイント絵本コンペ最優秀賞。著作絵本「うみのハナ」「やぎのタミエはおかあさん」「みずうみ色のウィピル」（BL出版）。毎日新聞にてイラストコラムを連載中。

### ■「海南nobinos」施設概要

名称：海南nobinos（カインアン ノビノス）

\*「のんびりする」「のびのびできる巣」という

所在地：和歌山県海南市日方1525番地6

Access：JR海南駅より徒歩7分

開館時間：9：00～21：30

休館日：12月29日～1月3日

運営：指定管理者 TRC海南

代表団体：株式会社図書館流通センター（本社：東京都文京区 代表取締役社長 谷一文子）

構成団体：株式会社明日香（本社：東京都文京区 代表取締役 萩野吉裕）

：大揚興業株式会社（本社：和歌山市新通2丁目 代表取締役社長 村田弘至）

施設内容：①図書館機能／蔵書冊数14万4865冊（うち絵本の冊数5万2659冊）\*2023年6月末時点  
②市民活動・生涯学習活動支援機能／ホール(最大254席)、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×1  
③子育て支援機能／和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室、乳幼児用の遊び場、屋外広場に隣接する保護者待機室など  
④カフェ／スターバックス コーヒー 海南nobinos店（館内は全て蓋つき飲み物の利用可）  
⑤広場

### ■来館者数関西一 “賑わう図書館”

海南nobinosは、図書館機能を核としながらも、ホール・貸館、子育て支援機能を持ち、広場のほか、スターバックスコーヒーも出店しています。図書館は、手に取れる冊数としては日本一となる5万冊の絵本を開架し、児童書、一般書、マンガなど親しみやすい図書を中心に揃えています。ぶつかっても怪我をしないクッション性の



高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読める読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。2020年6月1日の開館以来、図書館に来るきっかけになるようなイベントも多数開催し、年間来館者数は59.7万人と、人口10万人規模の自治体の公共図書館と比較して関西一となります（日本図書館協会「日本の図書館 統計と名簿2023」より）。